資料№１

校務分掌組織の制定［組織図作成］について

（熱海市立第一小学校）

１　実施内容

(1) 現行分掌表の整理

ア　各会の位置づけの確認（主任会、学校サポート委員会等）

イ　現在設置されている特別委員会の再確認（必要なものは追加、機能していな

いものは意義を再考）

ウ　現在の分掌を再確認（必要なものは追加、機能していないものは意義を再考）

エ　その他軽微な修正

(2) 事務職員が学校経営に参画するための組織改編

ア　管理職及び教務主任との打合せの場（名称は問わない）がある場合は、それ

を分掌表に位置付け、参加者に事務主任を明記

イ　分掌表に、直接指導に係るもの（「指導」）と「経営」の枠組を設定し、現在

設置されている各「部」を分類

ウ　アイにより改編した組織内における、事務職員の機能を管理職及び教務主任

と共通理解

エ　全職員に説明（合意を得る）

　(3) 再編（移管）する役割（担当）を分掌表に明記

２　成果

　　従来の組織を改めて見直すことで教員の分掌が整理されたり、新たな組織体制を考えたりするきっかけになる。

また、再編による分掌を明記することで、のりしろや支援としてではなく、分掌業務としての業務を行うという位置付けを明確にすることができる。

　　なお、翌年度以降は、それを基に事務職員が分掌表を作成することも可能となる。

３　課題

　　組織図の作成という業務自体を、管理職及び事務職員が相互に再編後の事務職員の業務であることを認識し続けないと継続できないと考えるため、市教委が校長（教頭）会を通して、当該業務について事務職員が担当することを標準化する意思表示が必要（本市では教科書事務の分掌は全校統一されているため、それと同様の手立てによる。）

４　今後の予定

　　校長又は教頭が作成する方が効率が良い部分も見受けられるため、事務職員への業務移管をするということに重きを置くよりも、組織を見直す時点において事務主任として参画できる体制を作ることの方が重要と考える。